

教団新報

定 価 1 部 144 円 (本 体 133 円 千 共 206 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,150 円
紙 代 の み 3,600 円
振 替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 道 家 紀 一
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし

「伝道する教団の建設」 ―十字架の贖いを土台として―

第 40 回 日本基督教団総会



三役再選で新しい総会期

石橋秀雄議長は、議長報告で、「2030年問題」など、教会の内外で危機が叫ばれる状況の中で、「伝道する教団の建設」こそが、教団の教会のあるべき姿であり、使命だ。時を超え、国を超

えて、『永遠の福音』を保つための福音を保持する公同の教会であるところに、教会の力と希望がある。教団が宣べ伝える福音の内容と宣教のあり方についてはまだ議論が十分とはいえず、改訂宣教基本論草案を通して、議論が深まって行くことを願っていると報告した。

久世そらち 201票
雲然 俊美 5票
梅崎 浩二 2票
後宮敬爾、大月純子、木村拓己、柴田もゆる、藤掛順一、保科 隆、真壁 巖 各1票

「伝道する教団の建設」―十字架の贖いを土台として―を主題に掲げた第40回日本基督教団総会は、10月25日から3日間、東京・池袋のホテルで開催され、総会議員400名中、開会時366名が出席した。沖縄教区は、34回総会以来、7回連続して議員を選出しなかった。

石橋秀雄議長は、議長報告で、「2030年問題」など、教会の内外で危機が叫ばれる状況の中で、「伝道する教団の建設」こそが、教団の教会のあるべき姿であり、使命だ。時を超え、国を超

久世そらち 201票
雲然 俊美 5票
梅崎 浩二 2票
後宮敬爾、大月純子、木村拓己、柴田もゆる、藤掛順一、保科 隆、真壁 巖 各1票

40回教団総会を終えた。冒頭、議案上程の手続不備等の説明に時間を要し実質の審議になかなか入れず、最後は上程できなかった議案を残し閉会しなければならなかった。しかし、審議全般に、秩序を守った会議となってきた。内容を伴う討議をなおいっそう深めることが求められる。「伝道する教団の建設」のため待った無しの課題が山積する中で新しい総会期が出発した。

石橋秀雄議長・佐々木美知夫副議長再選

（投票総数373、無効2）
石橋議長は、「4期目という戸惑いもあるが、大きな課題があるので、懸命に取り組んで行きたい。福音に燃えて、伝道する教団を建設し、危機に立ち向かう。お祈りとお支えを頂きたい」との議長挨拶を行った。

久世そらち 201票
雲然 俊美 5票
梅崎 浩二 2票
後宮敬爾、大月純子、木村拓己、柴田もゆる、藤掛順一、保科 隆、真壁 巖 各1票

九州教区提案議案について石橋議長謝罪

石橋秀雄議長は、総会冒頭の議事日程承認の際、北村慈郎教師の免職撤回を求める33号議案（大阪教区）と44号議案（神奈川教区）の2議案は、「戒規に関する議案であり、教規142条で『別に定める』としており、議案として上程出来ない」と説明した。また、「教憲9条と関連教規案の改正」を求める42号議案（九州教区）は、「7月5日に受理したが、議長が知ったのは、9月13

日で、教憲12条の求める3ヶ月前の公表が出来なかった。従って、今総会に上程出来ないことを、議長としてお詫びする」と語った。

これに対し、梅崎浩二九州教区議長は、「議案は、石橋議長が問安使として出席した5月の教区総会で可決したもので、3ヶ月のことは承知しており、7月の常議員会の際にも、議長にお願いしていた。公表は新報紙上でなくとも、他の方途もあった筈だ。

この際、教憲12条の求める公表とは何をもってするかを確定して欲しい。石橋議長が瑕疵を認めてくれたので、これ以上、議論は止めるが、教団新報紙上に議長の謝罪文と議案全文を掲載して欲しい」と語った。

石橋議長が、これを了承したので、2人の議論は収束したが、議場からも賛否両論が続き、組織から第1号議案終了までに、最近の教団総会で

ある」と挨拶した。書記は、慣例に従い、正副議長提案の雲然俊美書記を議長が承認し、雲然書記は四選された。

長崎哲夫総幹事は、2期4年の任期を終えて退任するが、石橋議長は、「総幹事をここで推薦出来ないの、道家紀一総務幹事を総幹事事務取扱としたい」と提案した。

議長責任を問う意見が続き、採決要求の動議も出たが、必要な3分の2に足りず、不成立となった。

石橋議長が、再度、道家紀一総幹事事務取扱を強く訴えて、同様の論議が再開したが、長山信夫、責任の重さを感じて

は、これまでのいろいろな仕方を選任されて来た」氏の局次長を務めており、出版局内部から初の選任となった。

藤敦氏を承認した。新藤氏は局次長を務めており、出版局内部から初の選任となった。

常議員選挙では、教職14名中、5名、信徒13名中、5名が入り替わった（再17、新10）。

（永井清陽報）

は、異例の1時間近くを要した。

常議員選挙は、常議員会提案の全数連記投票に対し、有澤慎一議員（大阪）が半数連記投票を提案。白熱した論戦となったが、意見はかみ合わず、投票の結果、投票総数363（有効357）賛成161、反対196で否決され、常議員選挙は、4期連続、全数連記制で行われた。

（永井清陽報）

は、異例の1時間近くを要した。

常議員選挙は、常議員会提案の全数連記投票に対し、有澤慎一議員（大阪）が半数連記投票を提案。白熱した論戦となったが、意見はかみ合わず、投票の結果、投票総数363（有効357）賛成161、反対196で否決され、常議員選挙は、4期連続、全数連記制で行われた。

は、異例の1時間近くを要した。

常議員選挙は、常議員会提案の全数連記投票に対し、有澤慎一議員（大阪）が半数連記投票を提案。白熱した論戦となったが、意見はかみ合わず、投票の結果、投票総数363（有効357）賛成161、反対196で否決され、常議員選挙は、4期連続、全数連記制で行われた。



360 名余が出席し開会礼拝



園庭で賑やかに声が
ついている
が静かにな
るひととき
がある。一
つは、お弁
当のとき。ク
ラスはうれ
しい声で一
杯だが園庭
は静かだ。もう
一つは、礼
拝のとき。全
クラスの礼
拝のときは
当然だが、各
クラスの礼
拝の時間も、
学校のきち
んとした時
間割ほどで
はないしろ
う、同じ頃
に各クラスの
礼拝を献げ
るときには、
クラスも園
庭も賑やか
な声もひと
とき止む。▼
礼拝のとき
は独特なもの
がある。礼
拝を献げている
共同体の静
けさは外に
いるとよく
わかる。ク
ラス礼拝の
担当がなくて
牧師室で執
務している
とき、礼拝に
遅刻して礼
拝堂へとそ
と近づくと
き。主の日、
この静けさは
世の喧騒に
掻き消されて
しまうが、本
当は教会の
周りにはあ
るはずだ。世
界がすべて、
主の御前に
静まること
を経験できる
ならどれほど
素晴らしい
ことか。▼40
教団総会は、
未上程の議
案を残し閉
会した。各所
から真剣に
提案された
諸議案である。
かつては審
議未了廃案
に怒号の中
で閉会の祈
りが祈られた。
今回は「セ
クハラ教団」
の野次を最
後に、議場
全体が静まり、
議長の前
に祈りを合
わせた。静
まり祈ること、
それは教会
のいるのは
いいではあ
る。

伝道資金規則改訂、沖縄関連議案を否決

16年度実行予算審議に先立って次の2議案、沖縄宣教連帯金関連議案32号(提案者・大阪教区)、35号(兵庫教区)、17年度原予算審議に先立って議案48号、伝道資金規則改訂(九州教区)を先議した。沖縄宣教連帯金議案



規則改訂を説明、梅崎九州教区議長

は、いずれも、教団が2010年度以降、沖縄に交付する宣教連帯金を年額40万円に減額しているのを従来の120万円に戻すことを提案した。宣教連帯金は合同議定書に定められており、沖縄教区が教団と距離を置くこと

していることを理由とする減額は認められない、としている。これに対して「沖縄合同関連議案が廃案となった33総会以前のことを踏まえていな

分たちの自己検証が必要」という賛成意見が述べられた。挙手による採決で32、35号両議案、それぞれ355名中賛成151名で否決した。

伝道資金規則改訂案は、現行規則が申請制で資金運用していることから配分制に変更すること

することで北海教区増額、東京教区減額となる指摘があった。一方、改訂に賛成する意見として「現行の運用指針を常議員会が決定することに心配がある。運用指針が定

の伝道所信徒議員資格を認める規則変更申請を、信仰職制委員会答申に基づき退けた。審議は主に答申を巡り討議された。採決の結果、355名中、31号賛成149名、34号賛成148名で否決した。



賛否の討議に聞き議決

その他、「軍勢力によらない平和」(議案36号、兵庫教区)、「セクシュアル・ハラスメント防止対策・被害者支援」(議案37号、兵庫教区)を時間内に上

程、審議、いずれも賛成少数で否決した。残り7議案を時間切れによって審議未了廃案とした。沖縄・米軍北部訓練場ヘリパッド移設に反対する吉田慈牧師(林間つきみ野)逮捕に関して、議長団は、現段階で逮捕が「不当」とすることは厳

程、審議、いずれも賛成少数で否決した。残り7議案を時間切れによって審議未了廃案とした。沖縄・米軍北部訓練場ヘリパッド移設に反対する吉田慈牧師(林間つきみ野)逮捕に関して、議長団は、現段階で逮捕が「不当」とすることは厳

全能の神を信ず

開会、逝去者記念、聖餐礼拝を献げる

3日目の聖餐礼拝では、岡村恒牧師(大阪教区)が、ローマの信徒への手紙7章15〜25節から「死の体からの救い」と題して説教し、共に聖餐に与った。

「パウロは神への感謝を語る直前に神の前での絶望の嘆きを記す。パウロは律法に生きていた自らの歩みの中にある罪を知らされ

た。マルティン・ルターは、神の前に生きる罪人の姿を『悔い改め』という一句で捉え確かな救いを見出した。主イエスは、私たちに代わり十字架で神に見捨てられ一切の罪を背負った。

主の十字架を知る時、信仰者は、神への感謝を叫び出す。信仰の先達は主を待ち望み、恵みの食卓に着くこ

礼 拝

とを信じていた。 私たちも主イエスの肉であるパンと主の血が注がれた杯に与る毎に、神が主イエスによって、滅ぶべき私

たちを永遠の命に生きる者に変えてくださったことを思い出す。赦しの恵みをかみしめながら主の食卓に招かれ、主の食卓を宣べ伝えていき

(嶋田恵悟報)

「狭山事件の即時再審開始を求める件」を可決

議案第46号「狭山事件の即時再審開始を求める件」が全会一致で可決された。この議案は、具体的に、第40回日本基督教団総会が、東京高等裁判所の裁判長宛に再審開始の要請書を提出することを求める議案である。

議案説明に立った東谷誠議員(大阪)は、「教団4役にはこの件に関して

理解を頂き感謝であり、また、多くの教団関係者が署名活動に参加してくださり感謝である。今から53年前、狭山市で女子高校生が殺害された。警察は犯人と思われる人物と接触するが取り逃がし、その後犯人逮捕に至

った。その後53年間、氏は無実を訴えている。私も多くの人々同様、現場に足を運び、無実を確信している。これは、部落差別による冤罪事件である。私たちは早くから支援活動を行っているが、氏はすでに77歳となっている。氏の健康面等を鑑みつつ、ここが踏ん張りどころと、宗教の枠を越

えて支援者は励んでいる。無実と信じるが、この議案は無実を訴える議案ではなく再審開始を訴える議案である。傲慢かもしれないが、全員賛成でこの要望を出したいと強く願っている」と、議場に訴えた。結果、今総会中唯一の、全会一致で

議案可決となった。(小林信人報)

2日目の逝去者記念礼拝は、秋山とを信じていた。 私たちも主イエスの肉であるパンと主の血が注がれた杯に与る毎に、神が主イエスによって、滅ぶべき私



(3) 2016年11月26日

教 団 新 報

(第三種郵便物認可)

第4851号

報告

東日本大震災救援対策本部報告 熊本・大分地震関連報告

東日本大震災救援対策本部報告

東日本大震災救援対策本部は、雲然俊美書記の司会・進行で報告を行った。まず飯島信担当幹事が本部報告を行い、国内外募金結果と支援・貸付金状況を説明し、本部主

催の「こひつじキャンブ」、被災地支援演奏会と被災教会貸付金支援チャリティ・コンサート、東北教区放射能問題支援対策室「いずみ」の活動を伝えた。

続いてボランティア・センター報告で「エマオ



映像での確な報告を行う

「国際青年会議in京都」(フレ会議)について、飯田仰事務局長補佐は、「日本での原発事故発生時に教会に何ができるかを議論検討した」と報告した。片岡平和運営委員は「緊急時に教会が正確な情報を発信できる場所になる可能性をデジタル機器の駆使により模索中

である」と伝えた。本部報告に続き、被災教区の報告を各教区議長が行った。邑原宗男奥羽教区議長は教会の再建事業が進む中で、貸付金返済が大きな課題だと伝えた。小西望東北教区議長は教団の救援活動終了後

の「いずみ」の活動について、東北教区総会で教区として活動継続を決定した」と報告した。秋山徹関東教区議長は「地震による被害を受けた教会・牧師館・教育施設の復興が一段落した」と語り、新会堂を与えられたことで受洗者が生み出され、地域の活性化に結びついた例も紹介した。

石橋秀雄救援対策本部長が、祈りつつ活動を行っていることを述べて報告をしめくった。

熊本・大分地震関連報告
梅崎浩二九州教区議長が議長で『熊本・大分地震通信』を配布し、15教会に『被災度区分判定』を実施したことを報告して、被災した礼拝堂の修復に力を尽くす決意を語った。次に川島直道議員(九州)が被災各教会建物被害の報告を行い、今

でも熊本では1時間に1回の有感地震があり、異常事態が続いている。熊本、大分、長崎地区の教会が連鎖地震による深刻なダメージを被り、そのうち3教会は改築計画を立てている。教区でできる限界を越えているが、この状況をこそ信仰の回復に力と受けとめたい。諸教会からの祈りとご支援を頂きたい。ご状況を伝え、支援を依頼した。

その後、九州教区と在日大韓教会総会が共同で設置した『ボランティア・センター・エルピスくまもと』のスタッフである鈴木重宣教師が、被災者に寄り添う『ドリーム・カフェ』の活動を報告した。

最後に、佐々木美知夫救援対策副本部長が祈りを捧げた。
(原田裕子報)

解放劇『人は変わる』

総会2日目の夜、恒例の解放劇が「人は変わる」と題し上演された。今年は劇のスタイルが大幅に変更され、朗読劇の形で上演となった。ほ

者の台詞は感情豊かで非常に聞きやすいものであった。台本の土台に、実在する2人の被差別経験者との出会いがあったため、ストーリーにも例年以上の深みやメッセージが感じられた。

劇の中心に取り上げられたのは結婚を目指すチエミとケンイチに降りかかった部落差別問題。被差別部落出身のチエミとの結婚をケンイチの父ハジメに反対されること

を、牧師のクリモトに2人で相談するところから劇はスタートした。樂觀的な牧師は、話せば分かってくれると、いつものように聖書を読み、祈りを捧げ若い2人と連れだってハジメの元を訪れる。ここでもいつものように聖書の言葉を引き合いに出し、部落差別による結婚の反対の愚かさを論していく牧師であつた。しかし逆に、差別の現実の厳しさを突き

つけれ「被差別の経験があるのか、被差別経験者との出会いの経験はあるのか、お前には牧師の資格はない」、そんなハジメの勢いに言葉を失ってしまう。愛している

のなら結婚をあきらめろと、頑なに結婚を反対するハジメの前に言葉を失ったのはケンイチも同じ。しかし、そんな状況でもケンイチと一緒にいることを望むチエミの言葉に彼は奮起する。変わらなければ、部落差別の事態を知らなければ、言葉が強める。

この思いは牧師も同じであつた。教団の部落解放センターで被差別部落出身のハジメを紹介された3人は彼女の元へ。そこで彼女の口から語られたのは、小学生時代に経験した壮絶な被差別体験と就職後も続いた出生を知られることに恐れ怯えた日々。しかし、話は彼女の結婚を機に希望に展開していく。

ハジメの連れ合いの「安心しろ」の一言に被差別からの解放を感じた彼女。連れ合いは彼女に否定的だった自分の家族

最多の信徒出席

第6回信徒交流の集い

総会2日目の議事終了後、第6回信徒交流の集いが開催された。第35回総会の際、再結成されて以来、教団総会時恒例の行事となっており、北は奥羽教区から南は沖縄教区まで、過去最多の信徒81名が出席した。

望月克仁全国信徒会会長の挨拶から始まり、来賓として出席した石橋秀雄教団総会議長は、「かつて、教団は信徒20万人を数えたことがあった。今、何よりも福音に燃え、伝道する教団

を建設しなければならない。福音に燃えることが、その出発点になるだろう。信徒会がその中核として頑張っ欲しい」と激励した。

東京信徒会は、宗教改革500周年記念事業への協力要請を受けており、岡村恒500周年記念事業準備委員長が、記念事業の内容を紹介。東京信徒会から、17年6月22日、富士見町教会での記念礼拝、18年3月21日、青山学院大学での教会青年大会



81名が出席

についての概要、準備状況が紹介された。

(永井清陽報)



第40回 日本基督教団総会
「伝道する教団の建設」
―十字架の旗を土台として―

差別的経験があるのか、被差別経験者との出会いの経験はあるのか、お前には牧師の資格はない、そんなハジメの勢いに言葉を失ってしまう。愛している

のなら結婚をあきらめろと、頑なに結婚を反対するハジメの前に言葉を失ったのはケンイチも同じ。しかし、そんな状況でもケンイチと一緒にいることを望むチエミの言葉に彼は奮起する。変わらなければ、部落差別の事態を知らなければ、言葉が強める。

この思いは牧師も同じであつた。教団の部落解放センターで被差別部落出身のハジメを紹介された3人は彼女の元へ。そこで彼女の口から語られたのは、小学生時代に経験した壮絶な被差別体験と就職後も続いた出生を知られることに恐れ怯えた日々。しかし、話は彼女の結婚を機に希望に展開していく。

ハジメの連れ合いの「安心しろ」の一言に被差別からの解放を感じた彼女。連れ合いは彼女に否定的だった自分の家族

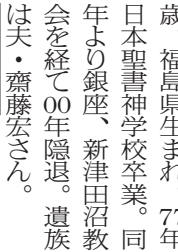
日本キリスト教団出版局
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田 2-3-18
Tel 03-3204-0422 Fax 03-3204-0457
ホームページ http://bp-uccj.jp
Eメール eigyou@bp.uccj.or.jp

消息

齋藤壽満子氏(隠退教師)



16年9月17日逝去、81歳。福島県生まれ。77年日本聖書神学校卒業。同年より銀座、新津田沼教会を経て00年隠退。遺族は夫・齋藤宏さん。



津村 勝氏(塩釜東教会)

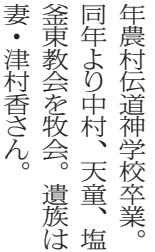
16年10月10日逝去、65歳。神奈川県生まれ。79年農村伝道神学校卒業。同年より中村、天童、塩釜東教会を牧会。遺族は妻・津村香さん。



松本賢三氏(隠退教師)

主任担任教師)

16年10月10日逝去、65歳。神奈川県生まれ。79年農村伝道神学校卒業。同年より中村、天童、塩釜東教会を牧会。遺族は妻・津村香さん。



松本賢三氏(隠退教師)

主任担任教師)

16年10月10日逝去、80歳。東京都生まれ。61年日本聖書神学校卒業。同

年より武生、岩内、三島、溝ノ口教会を経て00年隠退。遺族は妻・松本明子さん。



鹿島利次氏(隠退教師)

16年10月12日逝去、95歳。神奈川県生まれ。58年日本聖書神学校卒業。同年より紅葉坂、奥沢、横浜明星、ひの木教会を経て04年隠退。遺族は娘・米倉しのぶさん。

事務局報

伝道所通信先変更

川桁 〒969-3113
福島県耶麻郡猪苗代町南平坂5741 猪苗代教会
伝道所通信先廃止
鹿屋
DCE異動
関西学院聖和短期大学
辞 吉新ばら

お詫び・訂正

4849・50号、消息欄「丸尾美津保」を「丸尾美津穂」にお詫びして訂正いたします。

